

薬局薬剤師の説明例

今岐阜県では、腎臓を守ろうという取り組みが行われていて、腎臓の働きに合わせてお薬手帳に「じんぞうくんシール」を貼ることが勧められています。

(カテゴリーの表を見せながら)
腎臓の働きが良い状態だと緑のグループ、働きがだんだん弱くなってくると黄色、オレンジ、赤のグループになります。
〇〇さんの血液検査の結果から腎臓の働きを計算すると、●色のグループに入りますので、お薬手帳に●色のシールを貼りますね。

腎臓の働きは年齢が上がるとだんだん弱くなってきますから、進まないよう食事は塩分を控えるようにしてください。また脱水にも注意してください。
また、腎臓の働きに合わせて、お薬の種類を変えたり、量を調節したりする必要があります。病院や薬局で必ずお薬手帳を見せてくださいね。

(グラフを見せながら)
腎臓の働きの数値は、血液検査のたびに薬剤師がこのグラフに記入します。シールの色だけでは判断できないこともあるので、このグラフも大事なんです。手帳に挟んでおいてくださいね。

「あなたは慢性腎臓病です」などの表現は使わない。
(診断にあたるおそれがあるため)

患者さんのすることを伝える。
・ 塩分を控える
・ 脱水に注意する
・ お薬手帳を医療機関や薬局で提示する

1回貼ったら終わりではなく、薬剤師が今後の経過も見ていくことを伝える。

マイナスイメージの言葉は控える。
腎臓が悪い
→腎臓の働きが弱い

薬剤師の観点から、腎機能を把握することの必要性を伝える。
患者さんのレッテル付けや差別ではない。

Q&A

Q1. 区分が変わったら？

A1. 変わったことに気が付いた時点で新しく貼り直してください。

Q2. お薬手帳が新しくなったら？

A2. 新しい手帳にもシールを貼り、グラフも新しい手帳に挟み直してください。

薬局薬剤師にとっての「じんぞうくんシール」の意味

- 患者さんに自身の腎機能を把握してもらう
- 腎機能を把握している薬局から把握していない医療機関や薬局に情報伝達ができる

じんぞう

守ろう腎臓!

自分の腎臓の機能は何色?

腎臓は、血液をろ過して尿を作り、老廃物を排泄したり、ミネラルなどのバランスを調整したり、血液を作り出すホルモンを分泌したりと大切な役割を持つ臓器です。自分の腎臓を守る、管理するために、腎臓シールを活用しましょう。



腎臓は悪くなくても症状が出にくい臓器です。定期的に検査を受けましょう。

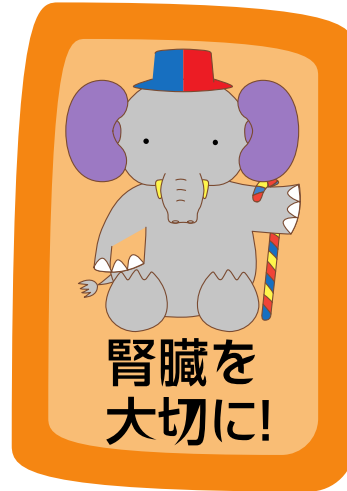
岐阜県・岐阜県慢性腎臓病対策推進協議会



腎臓を大切に!



腎臓を大切に!



腎臓を大切に!



腎臓を大切に!

GFR 60 以上
正常または軽度低下

GFR 45-59
軽度～中等度低下

GFR 30-44
中等度～高度低下

GFR 30 未満
高度低下～末期腎不全

良い状態

右に行くほど、腎臓の機能が低下していきます

注意

GFRと蛋白尿で どのステージにいるか確認しましょう

原疾患	蛋白尿区分	A1	A2	A3
糖尿病	尿アルブミン定量 (mg/日)	正常	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿
	尿アルブミン/Cr比 (mg/gCr)	30未満	30~299	300以上
高血圧 腎炎 多発性嚢胞腎 移植腎 不明 その他	尿蛋白定量 (g/日)	正常	軽度蛋白尿	高度蛋白尿
	尿蛋白/Cr比 (g/gCr)	0.15未満	0.15~0.49	0.50以上
GFR区分 (ml/分/ 1.73m)	G1 正常または 高値	≥90		
	G2 正常または 軽度低下	60~89		
	G3a 軽度~ 中等度低下	45~59		
	G3b 中等度~ 高度低下	30~44		
	G4 高度低下	15~29		
	G5 末期腎不全 (ESKD)	<15		

(KDIGO CKD guidelineを日本人用に改変)
引用:CKD診療ガイドライン2018(日本腎臓学会)

○重症度は原疾患・GFR区分・蛋白尿区分を合わせた
ステージにより評価する。

○CKDの重症度は死亡、末期腎不全、心血管死発症の
リスクを緑■のステージを基準に、黄■、オレンジ■、
赤■の順にステージが上昇するほどリスクは上昇する。

腎臓の状態を知り、腎臓を守るために

慢性腎臓病(CKD)は、腎障害や腎機能の低下が
持続する疾患です。

はじめは自覚症状がありません。放置すると、心筋梗塞
や脳卒中などの心血管疾患の合併や、末期腎不全への
進行をもたらします。

しかし、血液・尿検査で診断が可能であり、早期発見・
治療により、腎臓病の改善や、進行を遅らせることが期待
できます。**自分の腎機能を知り、腎臓を守るために、この
シートを活用しましょう。**

腎臓の働きを確認する eGFR(推算糸球体濾過量)とは

糸球体が1分間にどれくらいの血液を濾過して尿を作れ
るかを示す値で、腎臓の働きを確認することができます。

健康な人では、GFRは100ml/分/1.73m²前後ですが、
腎臓の働きが悪くなるとGFRの値は低くなります。





一般的な腎機能の変化は、3年間で約1ml/min/1.73m²
下がります。

GFRグラフの使い方

○健診や診察で、eGFRなどの検査を実施した際は、グラフ
に書き込み、自分の腎臓の状態を確認しましょう。

○GFRグラフから、将来的な腎機能の低下を予測するこ
とができます。

岐阜県慢性腎臓病対策推進協議会・岐阜県CKD医療連携ワーキンググループ
(令和3年9月作成)

シール	検査日																	
	正常または高値	90																
	正常 または 軽度低下	80																
		70																
		60																
	軽度 ～ 中等度低下	50																
		45																
		40																
		30																
	中等度 ～ 高度低下	30																
		20																
		15																
		10																
	高度低下	5																
	末期腎不全																	
検査項目	eGFR																	
	Cre																	
	BUN																	
	塩分摂取量																	
	ΔeGFR																	
追加項目	尿アルブミン定量																	